

第5回多治見市かわまちづくり協議会議事録

(要点筆記)

- 開催日時 令和4年2月24日(木) 午前10時00分から午前10時45分まで
- 開催場所 多治見市産業文化センター 5階大ホール
- 議 事
1. あいさつ
 2. 議題 (1) かわまちづくり計画(案)について
 3. その他(1) 計画登録までのスケジュールについて
(2) 来年度の協議会について
- 会議の公開 多治見市情報公開条例(平成9年条例第22号)第23条の規定により公開
- 出席委員 山本 真行、水野 利之、城下 真由美、加藤 聖規、水野 高明、
村手 洋之、小口 英二、若尾 茂希、岩塚 慎二、加藤 敬次、
飯田 道広、樫野 誠、竹原 雅文、知原 賢治、(敬称略)
- 事務局 多治見市建設部道路河川課・経済部産業観光課
国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所調査課

発言者	発言内容
1. あいさつ	
多治見市建設部 渡辺課長	本日は計画の最終検討という段階で、第4回までの議論を反映しているかを確認頂き、最終案を確定していきたい。
庄内川河川事務 所調査課 佐伯課長	令和3年3月の第1回目より約1年が経過した。事務局として委員の意見を反映し、整備内容を再検討してきたので、忌憚のないご意見をお聞かせ頂ければと思う。また整備後に向けて、どのように利用するか、またワクワクするような活動を検討していきたい。
2. 議題(1) かわまちづくり計画(案)について	
事務局	(計画概要と変更箇所について事務局から説明)
委員	多目的空間について、出水により広場が利用できない状況となることが懸念される。出水時に対する施設の考え方、対策についてはどう考えているか。
事務局(佐伯課長)	大水等により土砂が堆積する等の大きな改変の場合には、河川管理者として土砂の整地等の協力を行うが、基本的には占用主体となる市や民間事業者で維持管理することとなる。
委員長	今後の維持管理については来年度以降、引き続き検討していきたい。
委員	前回の協議会の意見で、夜間の視認性や防犯の観点から、街灯設置の意見が出たが、計画には反映されているのか。
事務局(佐伯課長)	街灯設置については、構造等に配慮した事例もあり、洪水時に支障がなければ河川管理者として許可をすることは可能である。街灯の基本的な維持管理については占用主体が行うこととなるので、今後の維持管理と合わせて検討が必要となる。
委員	駐車場台数の確保について、イベント時には台数が不足することが想定される。前回、多目的空間のなかに駐車することを想定するといった説明があったが、整備イメージ図からはそこまで読み取れないので、説明いただきたい。
事務局(佐伯課長)	イベント時の臨時駐車場として、未だ決められていない部分があるが、上流の空きスペースなどの活用や周辺商業施設との連携を想定している。
委員	土岐川沿いに散策することを考えると上下区間の連続性として、記念橋の高架下を通れるように、計画のなかに入れてほしい。現在は連続しておらず、商業施設まで行った所の信号を渡

	ることとなる。
事務局(佐伯課長)	記念橋下のイメージ図がないが、計画としては高架下を通す案としており、ご指摘の通り、上下区間の連続性を確保する案で進める予定である。
委員	多目的空間の樹林帯について、野鳥の有無に関わらず、木があるとよい。可能であれば、空間のバリエーションとして樹林帯を残してもらい。
事務局(佐伯課長)	前回の計画案では利用目的として野鳥観察のための樹林帯を残すという主旨であったが、野鳥が特にいないのであれば、伐採した方がよいという意見もあった。このため、野鳥の状況を確認し、伐採する方向とした。また、駐車場付近の樹木帯を残す予定である。全体としてどれだけ樹木を残すか、意見を踏まえて検討したい。
委員	絶対に樹木を保全してほしいということでもないが、積極的に伐採しなければならない理由がなければ、極力、樹林帯を残してほしい。
事務局(佐伯課長)	今後、詳細設計を進める段階で検討していきたい。また、下流区間の整備について、多治見市民病院関係者へアンケートを実施した所、木陰があった方がよいとの意見も頂いたので、残せるところは残していきたい。
副委員長	先日も多目的空間で探鳥会を実施し、13種の野鳥を観察することができた。野鳥は生息していないわけではない。 伐採予定の樹林帯については、鳥を見ようと思うと雑木であり、鳥が観察しづらい。河原の方が観察には適している。 先ほどの説明のなかで、野鳥がいないという表現は正しくないため、補足させていただく。
委員	多目的空間のトイレの設置について、また、来月の社会実験の時はどうするのか、参考に聞きたい。
事務局(渡辺課長)	トイレの設置については、利用がどの程度あるかを踏まえて、今後の運営方法のなかで検討していきたい。今回の社会実験では仮設トイレと手洗いを設置して、利用状況を検証したい。
委員	虎溪大橋の上流の整備については、考察したけれども整備は難しいと判断したということで理解した。 虎溪用水に関連する施設として、取水口やトンネル、川を渡

	す支柱の土台があったと記憶している。ロータリークラブで記録フィルムが残っているので、参考にして頂きたい。多治見駅の虎溪用水広場にも取水していることから、市の資源としてあることを記載しておくといよい。
事務局(木村課長)	虎溪用水の施設については、永保寺の川沿いに取水口がある。また、永保寺の出口の所に虎溪山川という小川があるが、そこからトンネルとなり、弁天町の方へ抜けている。昔、トンネルを作る前には、懸樋のような形状で土岐川の脇を用水が流れていた。昔は虎溪大橋から永保寺までは川沿いに人が歩けたというが、現在は崖地になり、多大な整備費用が掛かるため、今回は虎溪大橋までの散策路を整備するという計画とした。
委員長	以上の意見を踏まえ、事務局と相談しながら最終案として調整させていただく方向で良いか。
委員一同	(一同これを承認)
3. その他	
事務局(渡辺課長)	(計画登録までのスケジュールについて事務局から説明)
委員	意見なし
事務局(渡辺課長)	(来年度の協議会について事務局から説明)
委員	意見なし
委員長	第5回多治見市かわまちづくり協議会を終了する。